

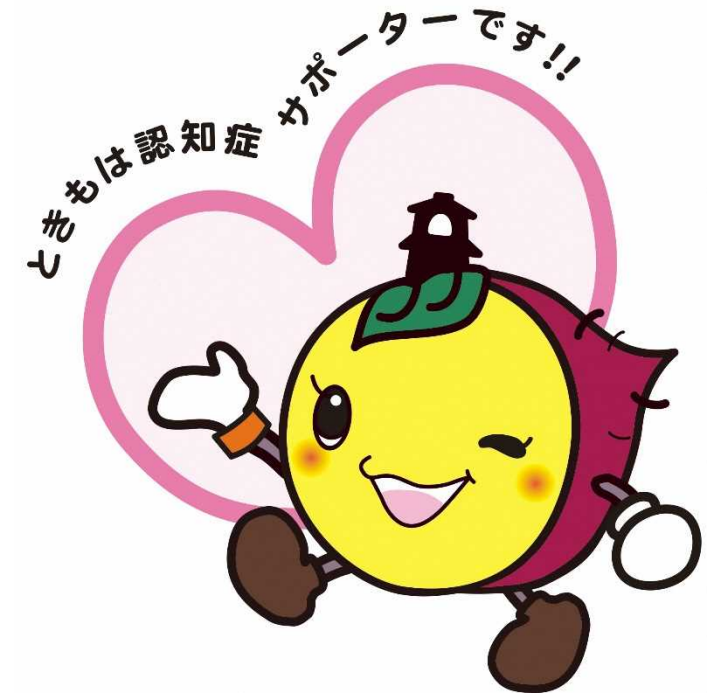
平成30年度第3回 地域支援センター等運営協議会

平成31年2月19日(火)

資料2

認知症初期集中支援チームの活動状況

川越市福祉部地域包括ケア推進課



認知症初期集中支援推進事業

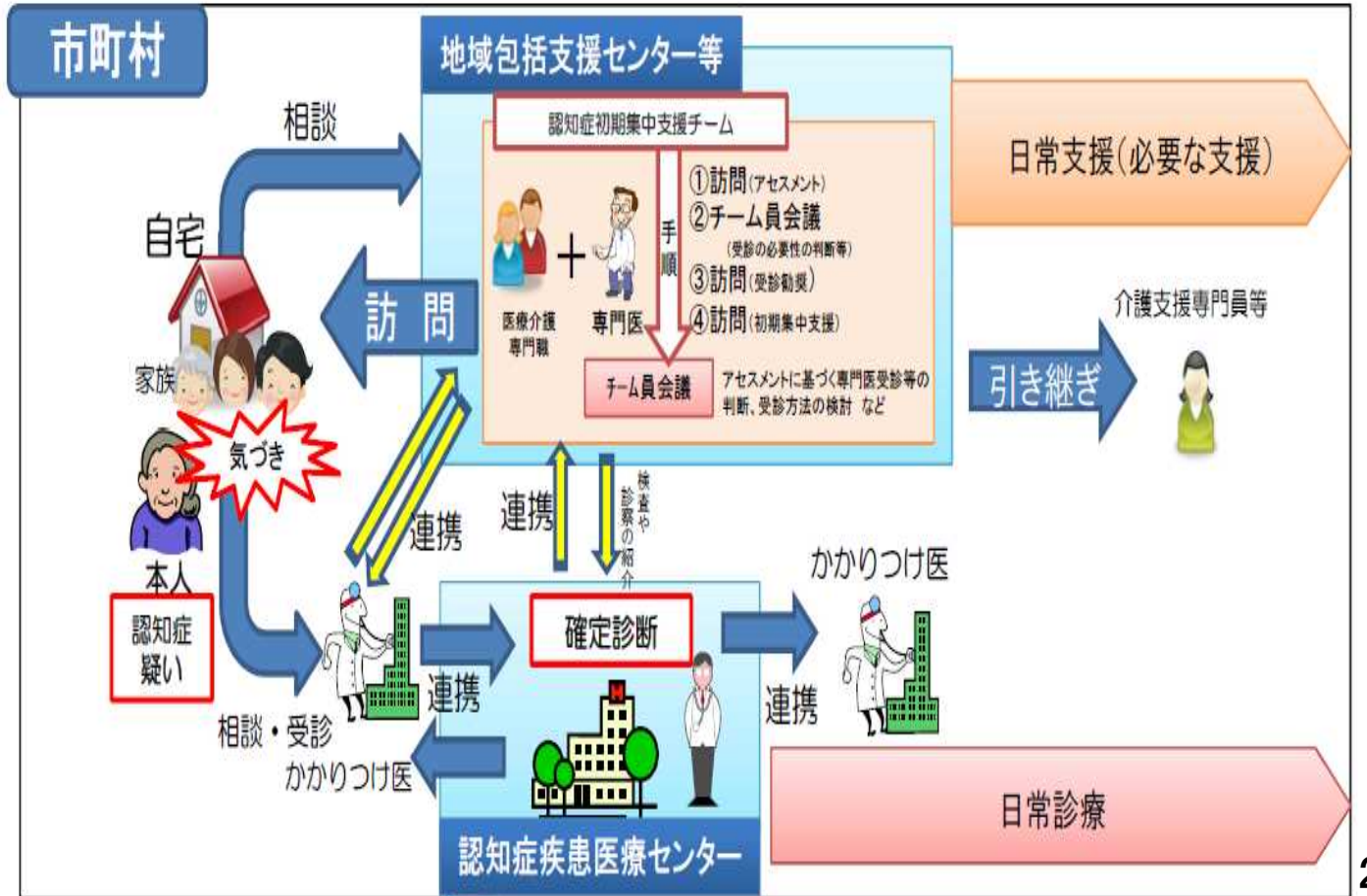
認知症初期集中支援推進事業とは

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。（平成30年4月までに全ての市町村に設置）

川越市の取組み

○認知症初期集中支援チームの設置

- 1 実施時期 平成28年1月
- 2 設置場所 地域包括ケア推進課
- 3 チーム員 認知症サポート医
社会福祉士、保健師※
※地域包括ケア推進課
作業療法士



認知症初期集中支援チームの活動状況

認知症初期集中支援チームとは

認知症に係る専門的な知識・技能を有する医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症の疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察・評価、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

認知症初期集中支援チームの対象者

原則として、40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、次のいずれかの基準に該当する者とする。

- ①医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している
- ②医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

川越市の認知症初期集中支援チームの活動状況

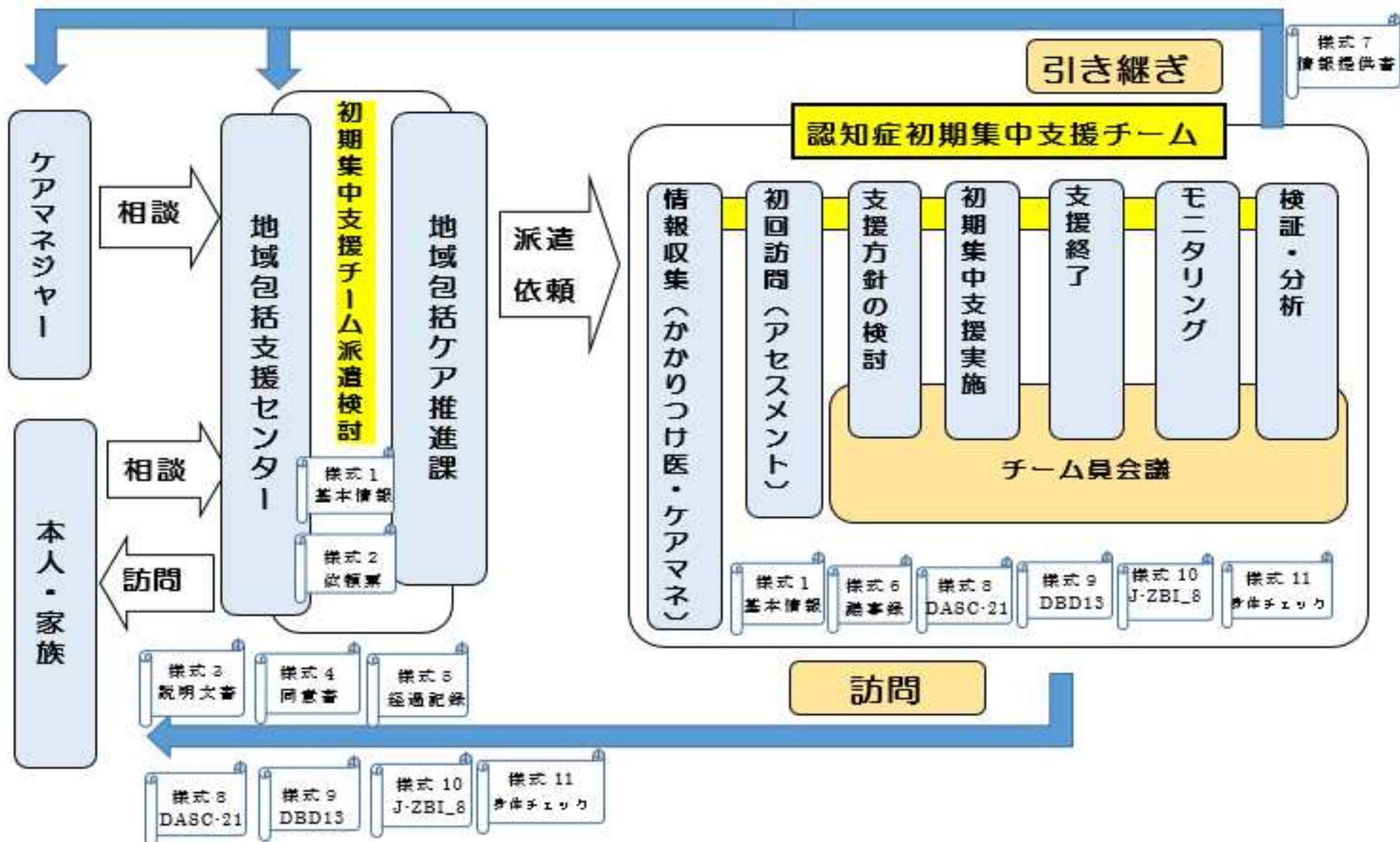
対象者は、医療・介護サービスにつながっていない、又はつながっていても定着しない方が多く、「対象者への支援について、何かしらの介入の糸口や方向性を多職種で見出し、今後も対象者を担当する地域包括支援センターやケアマネジャーにつなげる」ことを目的に活動をしている。

対応事例数

40事例（内 対応終結 38事例）

平成28年1月～平成30年12月末時点

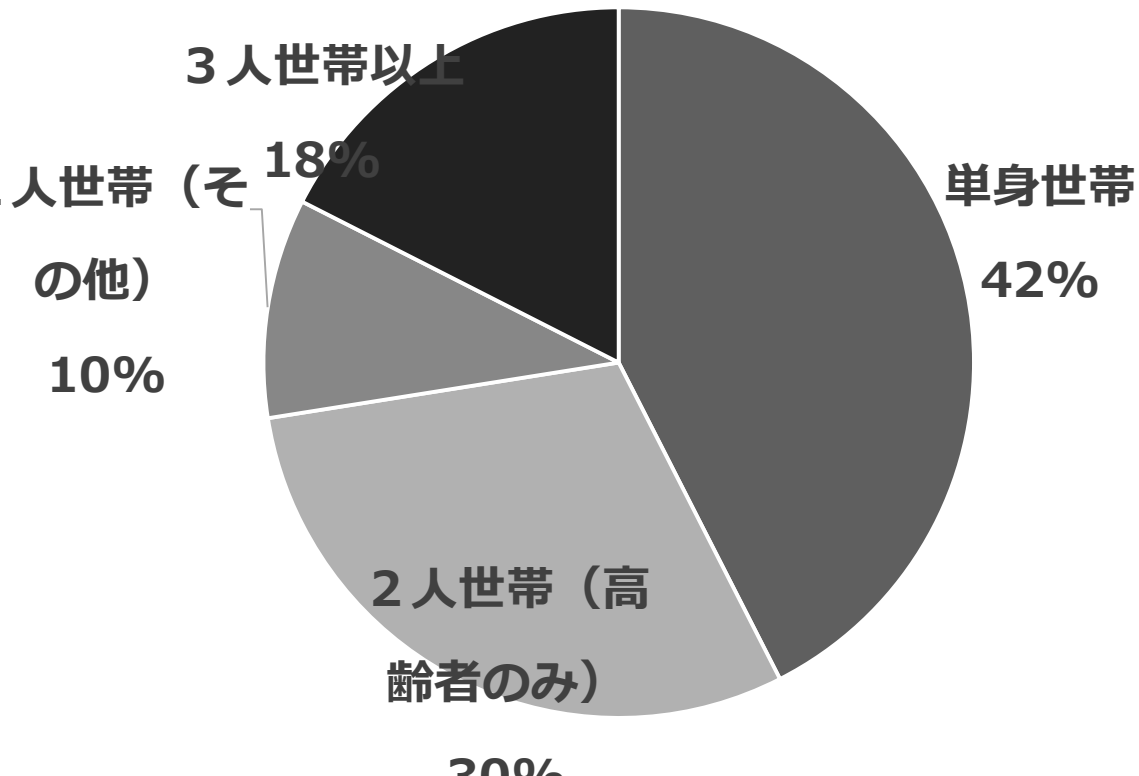
川越市認知症初期集中支援チームのフロー



支援対象者の概要 その1

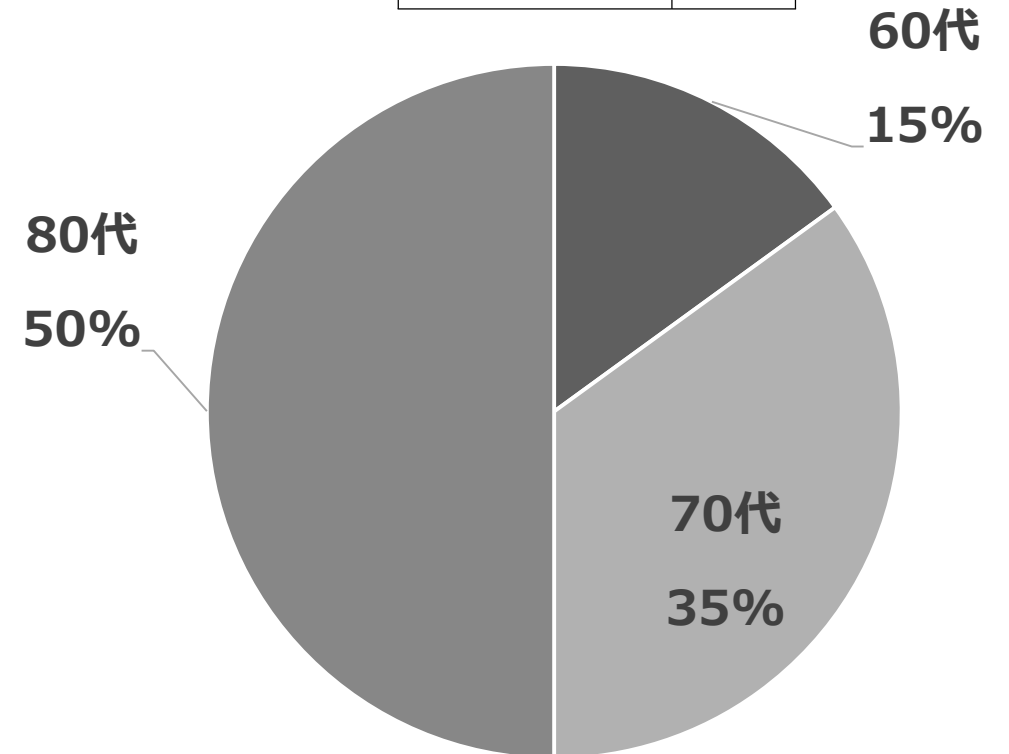
● 世帯構成

単身世帯	17
2人世帯（高齢者のみ）	12
2人世帯（その他）	4
3人世帯	7
計	40



● 支援対象者の年齢

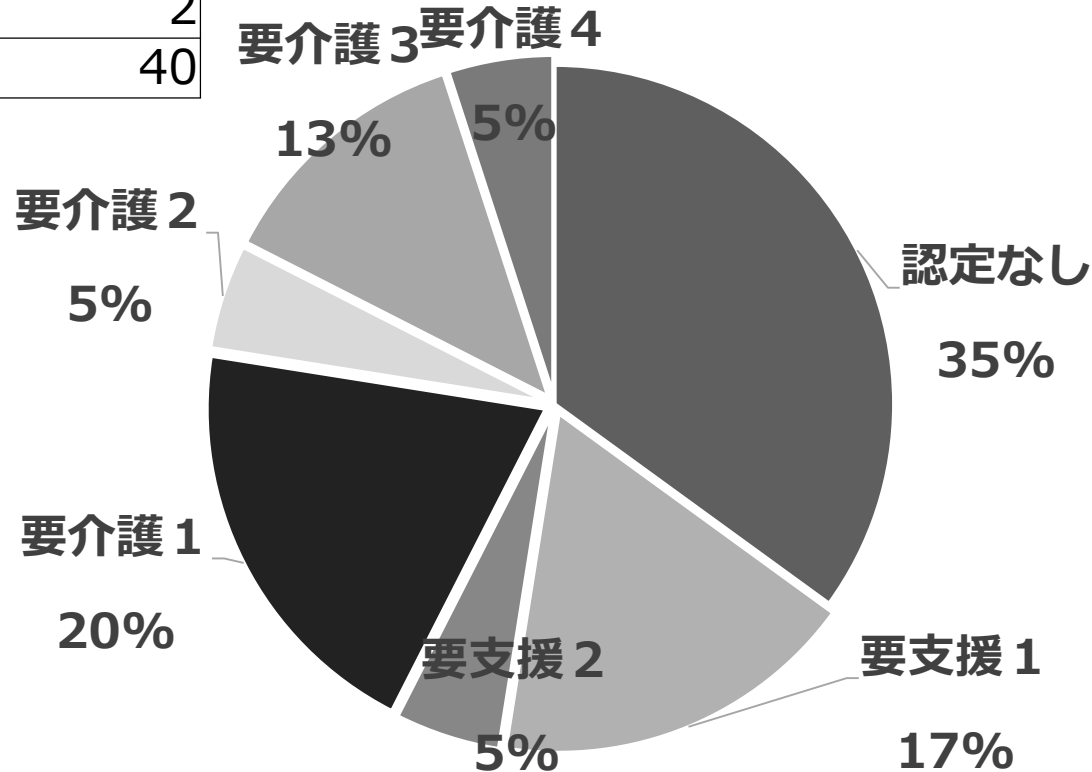
60代	6
70代	14
80代	20
90代以上	0
計	40



支援対象者の概要 その2

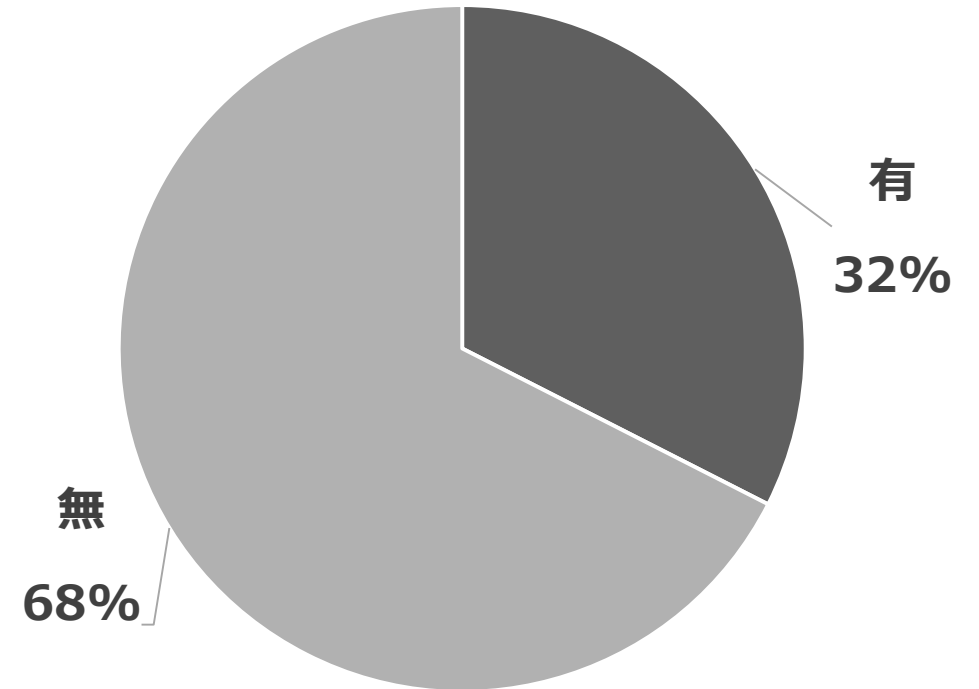
● 要介護認定の有無

認定なし	14
要支援 1	7
要支援 2	2
要介護 1	8
要介護 2	2
要介護 3	5
要介護 4	2
計	40



● 介護サービスの利用の有無

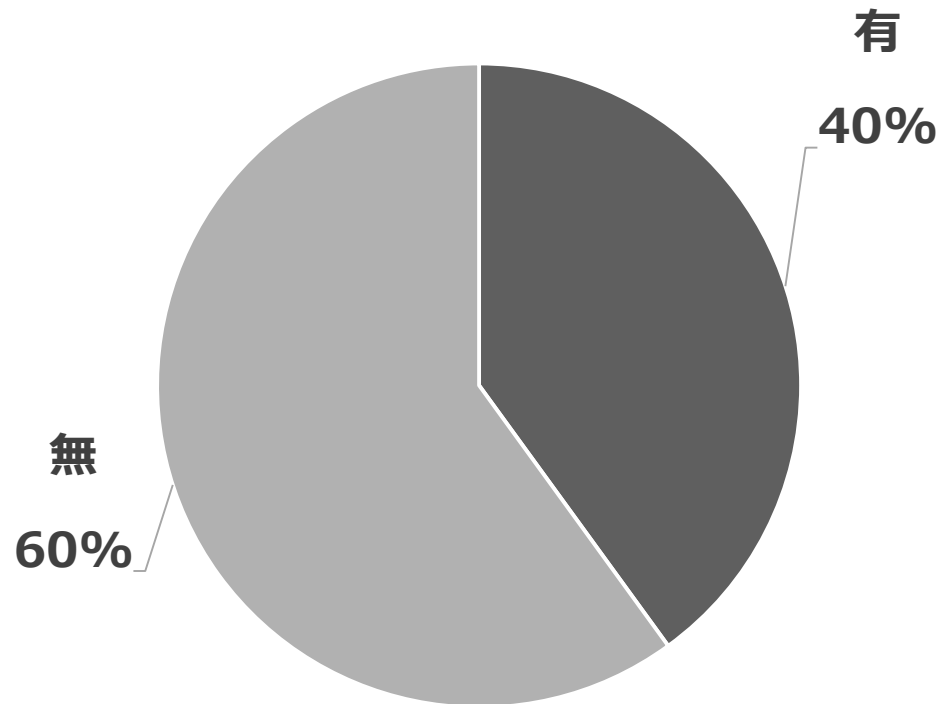
有	13
無	27
計	40



支援対象者の概要 その3

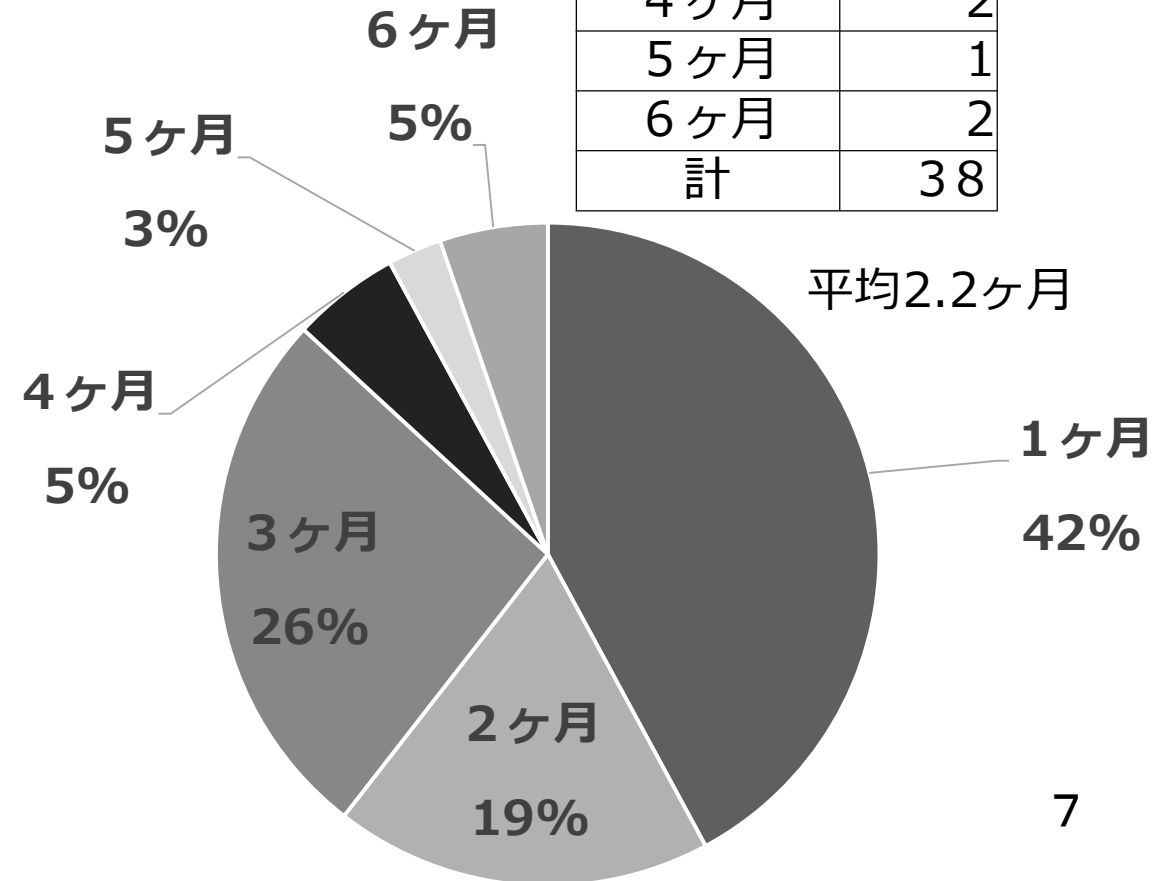
● 認知症の診断・受診の有無

有	16
無	24
計	40



● 終結までの期間(終結 38事例)

1ヶ月	16
2ヶ月	7
3ヶ月	10
4ヶ月	2
5ヶ月	1
6ヶ月	2
計	38



支援対象者の概要 その4

● 支援結果(終結 38事例の状況)

医療または介護サービスにつながる	17
(内) 認知症の受診(新規)	9
介護サービス内容(ケアプラン)の変更	6
家族の介護負担の軽減・認知症への理解の促進	5
支援方針の検討・提案	10

